

KOBELCO
マルチ解体機
自動車解体
エンジン解体
一般廃棄物



コベルコ建機 電話03-5789-2111

日本ELVニュース

End of Life Vehicle

1年6回発行(1月 3月 5月 7月 9月 11月)

発行人 酒井清行
日本ELVリサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3-2-2 一美ビル5階
電話 03-3519-5181
発行所(業務委託) (株)日刊市況通信社
大阪 大阪市中央区日本橋1丁目17-20 日本橋丸ビル5階
本社 電話 06-6631-5651



作成したチラシ

自動車リサイクル促進センター(JARC)は、このほど自動車リサイクル法のPRチラシを作成

JARCがチラシ作成 ELV加盟団体にも配布

ル法のPRチラシを作成、東京モーターショーなどのイベントで配布した。

使用済自動車引取台数 10月は31万3千台へ回復

自動車リサイクル促進センターは11月20日、10月の使用済自動車の引取台数が約31万3千台となったと発表した。

9月は自動車リサイクル法施行後初めて前年同月実績を下回る引取台数となったが、10月は前年同月実績を約2万4千台上回った。

今年度(4月~10月)累計の引取台数は、前年同期比11万5千台増の219万1千台だった。

10月の解体工程の引取報告件数は、前年同月比2万4千件増の32万8千件。破碎工程は、同6万2千件増の53万6千件だった。

認定全部利用台数は3万3千台。鉄スクラップ価格の高騰を受けて、解体自動車(廃車方)のシュレッダー業向けが増加したことなどから、前年同月比実績を約3万台下回った。

The 40th TOKYO MOTOR SHOW 2007 自動車リサイクル・シンポジウムを開催



第2部のパネルディスカッション

酒井代表がパネリストとして発言

経産・環境両省と3R活動推進フォーラム、3R推進協議会は11月4日、第40回東京モーターショー2007で、自動車リサイクル・シンポジウムを開催した。第2部のパネルディスカッションには、日本ELVリサイクル機構から酒井清行代表理事がパネリストとして出席。自動車解体業の役割や自動車中古部品品の有用性などについて発言した。

シンポジウムは、自動車リサイクル法制度に対するユーザーの理解促進を図るため、子供から大人まで幅広い層をターゲットに開催。会場全体を自

理事の今城高之氏がリサイクル博士として登場。自動車リサイクル法の基礎知識をクイズ形式など

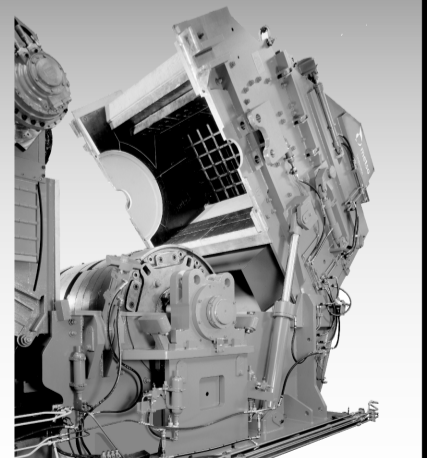
の認識を深めてもらうための情報をエンドユーザーに向かって発信しています。環境関連のイベントにチラシを置くなどして、環境保護に興味を持つ層に効率よくアピールするのが狙いで、経済産業省などの官公庁の後援もあり、活動は順調でした。

自動車リサイクル部品 普及促進キャンペーンを終えて

3R推進月間の10月にELV機構が実施した自動車リサイクル部品普及促進キャンペーンが無事に終了した。キャンペーンは今年で2回目。一般の関心も高く、チラシ配布もスムーズに行われた。11月16日、第9回部品流通研究会でその総括を行った。キャンペーンをリサイクル部品につ

実際の活動の中では、街頭でチラシを配る際にはタスキをかけるなどしてアピールしました。

「今城博士」と生徒役のお笑い芸人スピードワゴンらの軽妙なやり取りが会場の笑いを誘った。第2部のパネルディスカッションには、酒井代表理事のほか、永田勝也早稲田大学教授、モータージャーナリストの西沢ひろみさん、宍戸和也自工会リサイクル廃棄物部会副部長、呉村益生経産省課長補佐、中野哲哉環境省室長補佐が出席。①自動車リサイクル法の現状と成果②リサイクル部品のメリットについて③自動車リサイクル法をもっとよく知ろう④はば、の3つの議題について、来場者の意見も交えて活発な意見交換が行われた。来場者からは、「経済的に環境に優しいのなら、自分もリサイクル部品を使ってみよう」といった声も聞かれた。

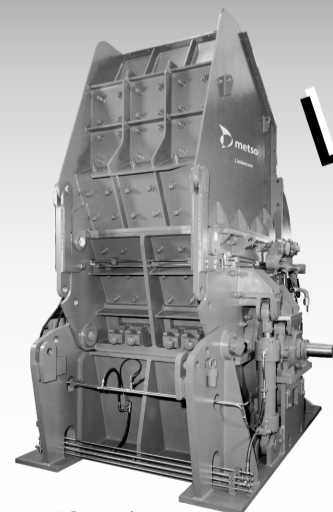


リンデマン シュレッダー パワーツァーディラトール

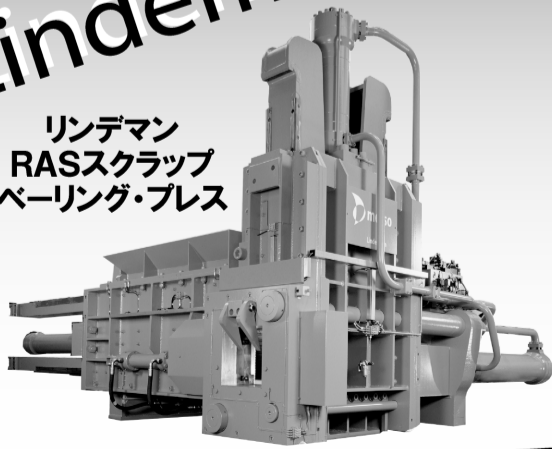
Lindemann

リンデマン RASスクラップ ベーリング・プレス

世界に広がる リンデマン ブランド



リンデマン メタルクラッシャー



メツォ・ミネラルズ・ジャパン株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-14-11

TEL: 045-476-3930 FAX: 045-476-3933

お問合せ: minerals.info.jp@metso.com URL: www.metsominerals.com/jp



地域別講習会 開催日程一覧

日程	ブロック	団体名	インストラクター	参加人数
9月18日	関東中	新潟廃車処理協同組合	野口 竜己	26人
9月22日	中国	岡山県自動車リサイクル協同組合	佐々木 健二	30人
9月22日	九州	長崎自動車中古部品卸売業組合	水落 文雄	3人
9月29日	近畿	播磨自動車解体組合	白井 雅也	14人
9月30日	沖縄	沖縄県自動車リサイクル協同組合	垣花 善則	30人
10月6日	中部	岐阜県ELV協議会	金森 幸元	30人
10月6日	北海道	北見支部、釧路支部、帯広支部3支部統括	幸田 英治	20人
10月13日	九州	北九州ELV協同組合	田中 年幸	9人
10月13日	九州	宮崎県ELV協同組合	池田 済	16人
10月13日	北海道	札幌支部	会田 隆	50人
10月13日	東北	福島県自動車リサイクル協同組合	安澤 博文	37人
10月13日	四国	愛媛自動車部品リサイクル協同組合	山本 留美子	10人
10月14日	九州	大分県ELV商業組合	野中 毅	40人
10月20日	九州	佐賀県自動車解体部品協同組合	久原 康己	18人
10月20日	九州	シーアール福岡協同組合	高田 聖二	6人
10月20日	中国	ヴィークルリサイクラークラブ広島	三山 康文	6人
10月20日	関東東	栃木県自動車リサイクル協議会	石井 恒治	6人
10月21日	九州	熊本県ELV協同組合 熊本県自動車再利用パーツ協同組合	田上 昭彦	28人
10月23日	北海道	函館支部	吉岡 篤史	20人
10月26日	四国	高知県自動車リサイクル協同組合	戸口 達朗 上島 剛	13人
10月27日	中国	ヴィークルリサイクラークラブ山口	森野 大介	7人
10月27日	中国	ヴィークルリサイクラークラブ鳥取	大黒 昭司	16人
11月3日	関東西	静岡県自動車解体業協同組合	田中 成佳	20人
11月10日	関東中	城東自動車解体部品組合	佐藤 茂	20人
11月10日	関東東	千葉県自動車解体業協同組合	小暮 康信 宅間 晶均	33人
11月10日	関東西	山梨県カーリサイクル協同組合	田中 一郎	20人
11月11日	関東西	長野県ELVリサイクル協議会	前沢 伸一	
11月11日	関東中	西東京自動車リサイクル協会	有原 良	25人
11月15日	中部	ELV愛知りサイクル協会	福山 照康	9人
11月17日	北海道	旭川支部	谷口 徹	45人
11月17日	近畿	大阪自動車リサイクル協同組合	杉田 初見男	30人
11月18日	関東中	東京江戸川自動車解体商興会	反町 博幸	48人
11月19日	東北	山形県自動車リサイクル協会	竹内 昌彦	30人
11月17日	中部	石川県中古自動車部品協同組合	宗田 正実	15人
11月23日	九州	鹿児島県ELV協同組合	保 晋太郎	24人
11月24日	東北	岩手県ELVリサイクル協議会	菊地 晃	17人
12月8日	関東東	茨城県自動車リサイクル協同組合	奥津 智昭	30人
12月8日	中部	富山県自動車解体部品組合	池田 博一	17人

フロント・エアバッグ類の適正回収 地域別講習会に約800名参加



入念な実技講習を実施
(ELV愛知りサイクル協会)

ELV機構と自動車再資源化協力機構(JARP)が認定した「JARE Aインストラクター」が、初めての地域別講習にのぞんだ。全国41会場で開催された、フロント・エアバッグ適正処理講習会には約800名が参加。座学講習と実技講習を通じて、適正な処理手順を学んだ。インストラクターは、ELV機構とJARPが協力して養成した講師。所定の講習を修了した全国51名が認定を受けている。

岐阜県協議会、金森氏が
適正手順を確認
6日、フロント・エアバッグ回収処理講習会を開催した。JARE Aインストラクターの金森幸元氏が、適正手順を解説。参加者は熱心に座学や「フロントの二度引き」など実技講習に取り組んだ。

ELV愛知協会、福山氏が留意点を説明

全国41会場、インストラクターが初講師

ELV愛知りサイクル協会(岩井洋二会長)は11月15日、名古屋解体で「フロント・エアバッグ適正処理講習会」を開催。会員ら11名が参加した。岩井会長は「フロント・エアバッグ類の処理は国からの委託契約業務。今日の講習会をしっかりと受け止め、作業手順の再確認などをしていただきたい」と話した。



兵庫県自動車リサイクル
処理工業会



北海道自動車処理協同組合



宮城県中古自動車解体
再生部品卸協同組合



千葉県自動車解体業協同組合

10月の3R推進月間に合わせて、自動車リサイクル部品の普及促進キャンペーンが、ELV機構加盟団体を中心に全国で実施された。

〈宮城県〉宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合(平地健理事長)は10月11日、「エコプロジェクト東北2007」の仙台市ブースで、組合員10名がチラシを配布した。

〈北海道〉北海道自動車処理協同組合(南昭理事長)は10月27日、赤レンガ庁舎(道庁旧本庁舎)で開催された「道民森づくりネットワーク」の集い「2007」に参加。チラシを配布した。

〈千葉県〉千葉県自動車解体業協同組合(木内俊之理事長)は10月27日、JR佐倉駅前組合員30名が参加して、チラシを配布した。

〈兵庫県〉兵庫県自動車リサイクル処理工業会(横山和夫会長)は10月28日、兵庫県を南北に走る国道175号線、東西に走る国道2号線を会員約11台と宣伝車1台でパレードによるPR活動を展開。一般ユーザーに自動車リサイクル部品の普及促進と使用済自動車の入庫促進をPRした。

自動車リサイクル部品 全国で普及促進キャンペーン

東京自動車リサイクル協議会の東京江戸川自動車解体商興会が11月18日に開催した講習会

江戸川、反町氏が48名を指導



岐阜県ELV協議会



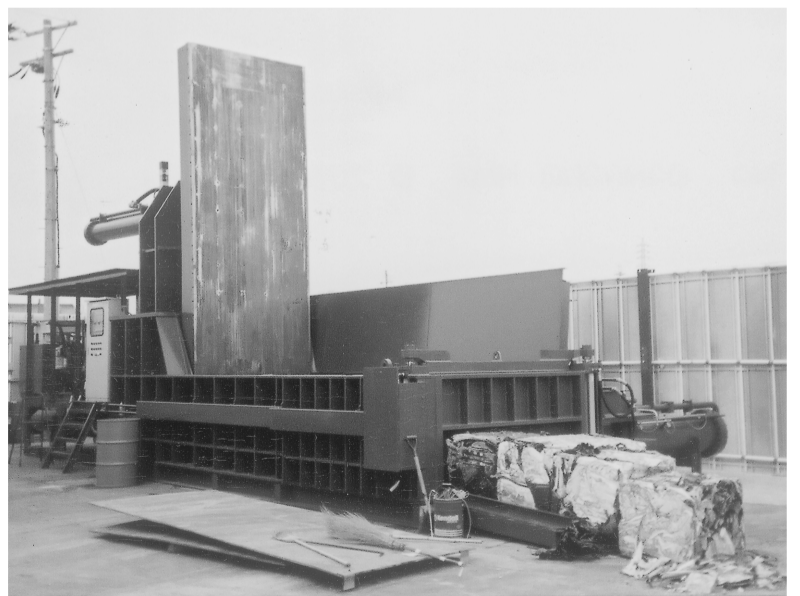
東京自動車リサイクル協議会
(東京江戸川自動車解体商興会)

い」と挨拶。引き続き、インストラクターの福山照康氏が講師となり、処理上の留意点などを説明した。

には、48名が参加した。インストラクターの反町博幸氏が指導にあたった。参加者のほとんどが現場での作業を行っていることから、座学、実技とも留意点の確認を重点的に行なった。



三方締廃車プレス機 (横蓋式)



三方締廃車プレス機 (縦蓋式)

※その他各種プレス機を製作。

滋賀自動車リサイクル協同組合 県内解体業者6社で設立

滋賀県内の自動車解体業者6社は11月16日、滋賀自動車リサイクル協同組合(川瀬重次代表理事)を設立した。自動車リサイクル法など関係法令を



組合設立披露パーティーで挨拶する加盟6社

遵守する自動車解体業者が一体となることで、情報交換を密にし、行政への発言力を高めていく方針だ。理事会の承認を経、日本ELVリサイク

同協組は今後、放置車両の根絶や琵琶湖の水質保全のための不法解体の監視パトロールなどを積極的に推進し、同組合の対外的な信用力の向上に努めていくとしている。同組合は11月21日、琵琶湖ホテルで設立披露パーティーを開催し、39名が出席した。来賓として、環境省近畿地方環境事務所廃棄物リサイクル対策課の上田健二課長、経産省近畿経済産業局環境リサイクル課の木村昌充課長補佐らが出席した。川瀬代表理事は開会の挨拶で「自動車解体を通

して、組合員が一体となって実効力のあるリサイクルに取り組みたい。行政の協力のもと、無許可業者の不法解体の監視にも努めていく」と述べた。

地方環境事務所廃棄物リサイクル対策課長が「自動車リサイクル法施行後、大きな混乱もなく、国内リサイクルは着実に進んでいる。今後も一層の廃車の適正処理とリサイクル技術の向上に期待した

い」と挨拶した。この後、食事に移行、和やかなムードの中、関係者は親睦を深めた。設立したのは、川瀬重次、秋本商店、近江パル、西岡商店、村山商店、栗東商会の6社。

離島放置車両17台を撤去 岡山自動車リサイクル協同組合

岡山自動車リサイクル協同組合(和気達夫理事長)は8月26日、自動車リサイクル法に基づく離島支援事業の適用を受け、岡山市犬島に放置されていた使用済自動車17台(すべて軽自動車)を一斉に撤去した。岡山県の同事業の適用は今春の笠岡市に続き2例目で、複数の一斉撤去は初めて。自動車リサイクル法は



離島での使用済自動車の不適正処分撤去を目的に

離島での使用済自動車の不適正処分撤去を目的に、当日は、新岡山港からチャーター船が3往復して使用済自動車を搬出し、岡山組合のリサイクル工場に運び込んだ。海上輸送費の残りの2割は「環境改善に協力するため」として、岡山組合が所有者の代わりに負担した。

「佐々木一行前理事長と犬島に向き、搬出する準備に3日間かけた。なにしろ島の道が狭く、軽自動車しか走れませんので、ユニック車が入らず、港に持って来るまでが大変でしたが、組合員有志の協力を得て、全ての廃車を一斉に搬出することが出来ました。住民の方々から、島内が綺麗になった、とお褒めの言葉を頂きました」と和気達夫理事長は話した。

記事訂正

9月号に掲載した「JAERAインストラクター」名簿に誤りがありました。兵庫県自動車リサイクル工業会の福原光宣氏の所属会社は「株式会社堀尾自動車部品」です。お詫びして訂正します。

今回は仕事を離れた話題です。バイカル湖という湖をご存知でしょうか。東経104度から110度、北緯51度から56度の間、シベリアウラル山脈の東のほぼ真ん中に存在します。緯度はちょうど樺太(サハリン)と同じくらい、経度で言えばモントゴルの首都ウランバートルの北あたりに位置します。

このバイカル湖は、タタール語という言葉で「豊かな湖」を意味する。淡水湖として世界最大、最深、最古の湖です。南北が640キロ、東西は最

酒井代表理事の



Vol.3

水量では850倍という規模です。バイカル湖にたたられる水の量は、世界中の淡水の20%になり、北米の5大湖の全水



も広い部分で約80キロ、そしてなんと深さは最深部で1640メートルあります。日本最大の湖である琵琶湖に比べて面積で50倍

ロシア・バイカル湖紀行

この湖ができたのはおよそ2500万年前のこととて、こんなに長い期間流入土砂に埋め尽くされず、消えない湖は他にないとのこと。バイカル湖に流入する水はこの湖に流れ込みません。

試みに湖の水をすくって飲んでみたところ、コンビニで売っているミネラルウォーターとまったく変わらない、というところ。オーバーな表現ですが、非常においしい水でした。もちろん、岸に近く人家がある場所では水質も



多少変わってくるのかも知れませんが、琵琶湖の850倍の水が精製せずに飲めるというのはすごいことですね。ロシアという国のスケールの大きさを実感しました。ウラジオストックから直線距離にして2500キロ、道のりにすると4000キロもあるのですが、内陸部の都市イルクーツクにも数多くの日本車が走っています。見た感じでは60〜70%の車が日本車で、それらが右側を走っている光景は一種異様な印象を覚えます。

私が滞在している数日間に出会った交通事故の数はかなり多く、市内を走るときは1日に2〜3件の事故を見ました。日本や欧米の自動車メーカーが工場進出し、自動車産業が再構築されようとしているときなので、右ハンドル車に対する何らかの規制を中央政府が講じてくるのは時間の問題ではないかと思いました。

サイドプレス(製造・直販)



- 製造メーカーの直販
- 納入実績100台
- サイドプレス(商標登録)
- 基礎工事不要・設置・導入コストを大幅削減
- 超低騒音・高性能・堅牢・経済性を誇る

2方縮型式	3方縮型式	投入ボックス寸法
KY-26	MKY-26	860×2000×2560
KY-33	MKY-33	860×2000×3300
KY-35	MKY-35	860×2000×3500
KY-51	MKY-51	860×2000×5100
KY-53	MKY-53	860×2000×5300

日本資源機械工業協同組合員



三筒産業株式会社

本社・工場 高松市新田町甲73番地の1 電話(087)841-3131(代)・FAX 841-2506
http://www.niji.or.jp/home/m-mito/